

# 日本語部

## Japanese Language Ministry

---

2025年8月31日

シリーズタイトル: 「ダビデの生涯」

今週のタイトル: **ダビデとイエス: まったく比較にならない**

サムエル記第一 16章、列王記第一 2章

レイ・ハームス-ウィーヴ 牧師

私たちすべてを突き動かしているのは「神への渇き」です。ユージン・ピーターソンはこう書いています。

「私たちが神と向き合っているときほど、生き生きとしているときはない」(ユージン・ピーターソン『壁を飛び越える』5頁)。実際、神と関わっていなければ、私たちは本当の意味で生きているとは言えません。

ああ、私たちは自分を満たそうとして、もっと学歴を得たり、もっとお金を稼いだり、別の場所へ旅をしたり、違う服を買ったり、新しいアイデアに触れたり、新しい経験を重ねたりします。

### 礼拝時間

午前 8 時 30 分、10 時、11 時 45 分

詳細は下記ページをご参照ください

<https://willingdon.online.church>

### 教会からのお知らせ

申込先はこちらより: [http://eepurl.com/dC\\_JaL](http://eepurl.com/dC_JaL)

けれども、どれほど何かを加え、どれほど多くを体験しても、心の奥に渇きが残ります。それは、快適さや安心、名声、力、そして性欲などをすべて合わせたものよりも、はるかに強い欲求です。

それが「神への渇き」です。

ダビデの物語は、この神への渇きに私たちを引き込んでくれます。若いときも年老いたときも、愛されているときも裏切られたときも、戦いに勝利したときも罪を悔い改めているときも。

イスラエルの王ダビデは勇敢な戦士であり、国を築いた指導者であり、才能あふれる詩人（賛美歌作者）でした。しかし同時に、家庭を顧みない父であり、姦淫を犯し、人を殺した人物でもありました。

それでも彼は、神を慕い求めたのです。詩篇を一つひとつ読んでみれば、それがよく分かります。

ダビデの物語は、私たちに「永遠に統べ治める王」への渇きを抱かせるのです。

- 羊飼いの王
- しもべの王